専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	
体育学部	講師	田中　良		無

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年月日（期間）	概　　要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		
担当する授業における進行方法の工夫とポータルサイトの活用	2017年4月～現在まで	授業内にはレポート作成時間を設定し，授業でどんな知識を得て，それにより自分の考えが変化したのか否かを学生自身が確認できるようにしている．また，やむ得ない理由で欠席したとしても次回授業にスムーズに参加できるように，授業で使用した配布資料等は，必ずWeb上にアップロードしている．
2　作成した教科書、教材、参考書		
他大学でも使用される参考図書の作成	2017年4月～現在まで	大阪体育大学体育学部，日本体育大学体育学部における「学校保健」の必携教科書または参考図書になっている「子どものからだと心白書」の作成に，平成27年度は協力スタッフとして，それ以降は編集委員として携わっている．
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
現職教諭を対象とした調査結果の返却と報告会の講師	2019年8月	世田谷区教育委員会と所属していた研究室（日本体育大学野井真吾研究室）が共同で実施した公立小・中学校悉皆調査の結果に関する世田谷区の現職教諭（養護教諭）を対象とした報告会で講師を務めた．
公立中学校での中学生に向けた健康教育講義での講師	2019年2月	世田谷区立尾山台中学校主催の「心と体の元気アップ！講座」において「見つめよう！心と体！やってみよう！元気のための健康生活」と題した講義の講師を務めた．
4　その他教育活動上特記すべき事項		
日本スポーツ協会コーチ3養成講習会（講習・試験免除適応コース）での講師	2017年2月～現在まで	日本ハンドボール協会主催の日本スポーツ協会公認コーチ養成講習会 講習・試験免除適応コース（ハンドボール競技）において講師を務めた．

Ⅱ　研究活動

著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
特記事項なし					

著書（共著・分担執筆）

題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
子どものからだと心／スポーツ健康科学	田中　良ほか13名／佐藤　洋	57頁～71頁	株式会社みらい	岐阜県	2022年8月
子どもの睡眠・疲労事情と対策／休養学基礎～疲労を防ぐ！健康指導に活かす	田中　良ほか30名／杉田正明，片野秀樹	156頁～162頁	株式会社メディカ出版	大阪府	2021年7月
子どもの健康と生活／大学体育・スポーツ学への招待	田中　良ほか23名／関根正美ほか5名	86頁～92頁	有限会社ナップ	東京都	2021年3月
授業に立ち机を導入／子ども白書2019	田中　良ほか72名／日本子どもを守る会	95頁	株式会社かもがわ出版	京都府	2019年8月
子どもを元気にする持続可能な実践の探究-教室への立ち机の導入の効果とは？／子どものからだと心白書2018	田中　良ほか14名／子どものからだと心連絡会議，子どものからだと心白書2018・編集委員会	32頁～34頁	有限会社ブックハウス・エイチディ	東京都	2018年12月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
Effects of using standing desks for 45 minutes on the stress and executive function of elementary school students	Ryo Tanaka, Shingo Noi	PLoS ONE	17	doi.org/10.1371/journal.pone.0272035	2022年8月
The Changes in Visual Acuity Values of Japanese School Children during the COVID-19 Pandemic	Shingo Noi, Ryo Tanakaほか5名	Children	9	doi.org/10.3390/children9030342	2022年3月
Different Types of Screen Behavior and Depression in Children and Adolescents	Kidokoro tetsuhiro, Ryo Tanakaほか4名	Frontiers in Pediatrics	9	doi.org/10.3389/fped.2021.822603	2022年1月
The Pathways Linking to Sleep Habits among Children and Adolescents: A Complete Survey at Setagaya-ku, Tokyo	Shingo Noi,Ryo Tanakaほか6名	International Journal of Environmental Research and Public Health	18	doi.org/10.3390/ijerph18126309	2021年6月
不定愁訴と自己イメージに及ぼす生活活動（規定生活活動，余暇活動）の影響：小学3～6年生を対象として	石濱加奈子，田中　良，鹿野晶子，野井真吾	日本幼少児健康教育学会誌	6	101頁～110頁	2021年3月
立位活動を組み込んだ授業が中学生の疲労感，実行機能に及ぼす影響	田中　良，野井真吾	日本幼少児健康教育学会誌	6	23頁～30頁	2020年9月

小・中学生における疲労自覚症状と生活状況との因果構造～世田谷区公立学校における悉皆調査をもとに～	田中　良，野井真吾	学校保健研究	62	25頁～34頁	2020年4月
小学生への立ち机の導入が身体活動，疲労自覚症状に及ぼす影響	田中　良，森田　舞，浅田晴之，野井真吾	こども環境学研究	15	108頁～113頁	2019年8月
Effects of change in residence to a mountain village on children’s melatonin responses	Shingo Noi,Ryo Tanakaほか4名	Biological Rhythm Research		doi.org/10.1080/09291016.2019.1586098	2019年3月
中学生における生活の循環構造	田中　良，野井真吾	発育発達研究	80	1頁～8頁	2018年8月
小中学生における疲労自覚症状の実態と関連要因の検討	田中　良，鹿野晶子，野井真吾	日本幼少児健康教育学会誌	2	77頁～85頁	2018年8月

総説

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
特記事項なし					

その他　（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
論文	身体活動を組み込む座学の授業に対する中学生の主観的評価	共　田中　良，鹿野晶子，野井真吾	日本教育保健学会誌	30	33頁～43頁	2023年3月
資料論文	グループワーク時における立ち机の利用が大学生，大学院生の発話に及ぼす影響	共　田中　良，田邊弘祐，森田　舞，浅田晴之，野井真吾	大阪体育大学紀要	53	37頁～45頁	2022年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内(一般演題)	2022年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会	身体活動を伴う普通教室の授業に対する中学生の所感	順天堂大学，千葉県	田中　良，野井真吾
国内(一般演題)	2022年3月	日本発育発達学会第20回大会	中学生における座学授業中の異なる身体活動と実行機能との関連	女子栄養大学，埼玉県（新型コロナウィルス感染拡大のためオンラインでの開催）	田中　良，野井真吾
国内(一般演題)	2021年11月	日本学校保健学会第67回学術大会	座学授業中に学習を伴わない身体活動を組み込むことが中学生の疲労自覚症状に及ぼす影響	愛知学院大学，愛知県（新型コロナウィルス感染拡大のためオンラインでの開催）	田中　良，野井真吾
国際	2020年9月	The 2020 Yokohama Sport Conference	Classes incorporating physical activity improve fatigue sensation and executive function in junior high school students	Yokohama，Japan（新型コロナウィルス感染拡大のためオンラインでの開催）	Ryo Tanaka，Shingo Noi
国内(一般演題)	2020年9月	日本幼少児健康教育学会第39回大会【秋季：岡山大会】	グループ討論時の立ち机の利用が発話数に及ぼす影響～大学生を対象としたプレ調査～	ノートルダム清心女子大学，岡山県	田中　良，鹿野晶子，野井真吾
国内(一般演題)	2020年8月	こども環境学会2020年大会（長野）	グループワーク時に立ち机を利用する有効性の検討～子どもを対象とする調査のプレ調査～	佐久平交流センター，長野県（新型コロナウィルス感染拡大のため誌面での開催）	田中　良，森田　舞，浅田晴之，鹿野晶子，野井真吾
国内(一般演題)	2019年9月	日本体育学会第70回大会	普通教室での低強度活動を組み込む授業の検証-中学生の疲労自覚症状，実行機能への影響に着目して-	慶應義塾大学，神奈川県	田中　良，野井真吾
国内(一般演題)	2019年3月	日本発育発達学会第17回大会	45分間の立ち机の利用が小学生の覚醒水準，実行機能に与える影響	大妻女子大学，東京都	田中　良，森田　舞，浅田晴之，野井真吾
国内(一般演題)	2018年11月	日本学校保健学会第65回学術大会	小・中学生における疲労自覚症状，気分調節不全傾向と生活状況との因果構造～2016年度世田谷区の公立学校における悉皆調査結果をもとに～	ホルトホール大分，大分県	田中　良，野井真吾
国内(一般演題)	2018年8月	日本体育学会第69回大会	45分間の立ち机の利用が小学生のストレスに及ぼす生化学的影響	徳島大学，徳島県	田中　良，野井真吾
国際	2018年7月	23rd Annual congress of the European College of Sport Science	The effect of introduction of standing desks to an elementary school	Dublin，Ireland	Ryo Tanaka，Shingo Noi
国内(一般演題)	2018年3月	日本発育発達学会第16回大会	立ち机の利用が小学生の身体活動，実行機能に及ぼす短期的影響	明治大学，東京都	田中　良，森田　舞，浅田晴之，鹿野晶子，野井真吾

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
その他の助成金	G-7奨学財団，スポーツ活動助成事業（競技団体等）	日本全国に大阪体育大学ハンドボールを届ける！		2023年1月-2023年12月	4,900,000円
科学研究費	研究活動スタート支援	授業中に「立ち上がる」効果の検証 -学校現場での疲労感改善方策の確立-	代表	2020年9月-2022年3月	2,730,000円
科学研究費	特別研究員奨励費	子どもの疲労軽減を目指した 持続可能な実践の学校現場への提案	代表	2018年4月-2020年3月	1,900,000円

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
特記事項なし						

Ⅲ　加入学会および社会における活動

期　　間	内　　容
加入学会	
2016年5月～現在まで	こども環境学会　学会員
2016年3月～現在まで	日本発育発達学会　学会員
2015年10月～現在まで	日本学校保健学会　学会員
2015年9月～現在まで	日本幼少児健康教育学会 学会員
2015年8月～現在まで	日本体育学会　学会員
社会的活動	
2023年4月～現在まで	日本教育保健学会　事務局幹事
2021年4月～現在まで	日本幼少児健康教育学会　理事
2017年4月～現在まで	子どものからだと心・連絡会議 子どものからだと心白書編集委員会　編集委員
2017年4月～現在まで	日本幼少児健康教育学会 学会誌編集委員会　幹事
2015年4月～現在まで	日本ハンドボール協会 指導普及本部 指導委員会　委員

Ⅳ　管理活動

期　　間	内　　容
委員会活動	
2021年4月～現在まで	体育学部 教職課程委員会　委員
特別プロジェクト活動	
特記事項なし	

Ⅴ　クラブ活動の指導業績

１．指導クラブ名	女子ハンドボール　部	２．役職	コーチ	３．部員数	45　人

４．現場指導の頻度	②	① ほぼ毎日　② 週３日　③ 週１日　④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導　⑤ 全く関与していない
５．合宿指導	年間合宿回数：　0　回	延べ日数：　0　日
６．クラブの競技力向上への取り組み	②	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない
７．クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない
８．部員の就職指導への取り組み	③	①積極的に取組んでいる　②ある程度取組んでいる　③あまり取組んでいない　④全く取組んでいない

９．年間の引率公式大会名	大　会　名	期　　間	場　　所
	2022年度関西学生ハンドボール春季リーグ	2022年4月～2022年5月	大阪体育大学ほか
	2022年度関西学生ハンドボール秋季リーグ	2022年9月～2022年10月	大阪体育大学ほか

１０．クラブ戦績　（全日本選手権８位以上、関西選手権４位以上、関西１部リーグ３位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）

開　催　期　間	大　会　名	成　　績	場　　所
特記事項なし			

Ⅵ　賞罰（職務に関する賞罰）

年　　月	受賞等機関名	内　　容	備　　考
2020年3月	日本体育大学大学院	日本体育大学大学院　学術奨励賞	